

■日程：2024年8月7日（水）～8月10日（土）

■ボランティア参加者数：22名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
8月8日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	12名
8月8日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	25名
8月8日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	19名
8月8日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	14名
8月9日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	16名
8月9日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	52名
8月9日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	30名
8月9日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	30名

■被災者の声（主なもの）

- ・毎週サロンを楽しみにしているの。近所で「明日よ～」って声を掛け合っているのよ。じいちゃんに今日も行く？と聞いたら行くって。先週たくさん話を聞いてもらって楽しかったんだと思う。
- ・病院に行くバスが少ない。車で移動中、バス停で待っている人がいたから、病院まで乗せていった。タクシーは呼べるけど毎回の利用は控えている。
- ・自宅が全壊。いつもならお盆は家族が集まるけど、今年は仮設だから狭くて呼べない。
- ・以前はナマコがいっぱいとれていたが震災後にとれなくなった。地盤沈下が影響したのか。昔はこんなことなかったのに。
- ・80代夫婦で仮設住宅に入っている。みんながすごく気にかけてくれるから、前にいたところよりも居心地がよい。一人で家にいても安心していられる。
- ・6カ月経っても、家の状況が何も変わっていない。崩壊した自宅を見る度に涙ぐんでしまう。
- ・火・木・金に移動販売が公民館にきて、買い物ができる。明日はお豆腐屋さんが来る。
- ・危険と判定された家に一人で住んでいる方がいて心配。妹さんがたまに来てくれるようだけど。周りの人たちが引っ越したらと言っているが、ここにいたいと離れない。気持ちはわかるけど心配。
- ・商店街があるけど、若い店主が少ない。前回の震災の時は再建したけど、自分たちの年齢を考えると再建すべきか悩んでいる。
- ・地元の人たちが少し若い世代のサロンを自分たちで開いてやっている。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・ボランティアがいないと、気をつかって震災にまつわる話をしてくれている感じがした。思い出話など楽しい話題の方が気分転換になるようだ。
- ・相手に対する共感の仕方には注意が必要だと感じた。根底に寂しさがあるように感じた。

